

第2期吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 意見書

第2期吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略【令和4年度実績】について

基本目標1:「地域力」を活かした、誰もが安心して暮らせるまち

公共交通利便性向上に関する実証実験等取組事業数

⇒住民の公共交通利便性向上にための手段は巡回バスの運行に限らない。実態や要望などを収集したうえで、実現可能性や地域の実情にあったサービスについて検討されたい。

消防団員の充足率

⇒定数 128 人を満たすことを目的とするのではなく、火災・災害時の対応を踏まえた上で定数の見直し等体制整備を検討されたい。その結果、その定数が必要であるということになれば団員数を増やす方法を検討されたい。

マイナンバーカードを利用した諸政策の実施

⇒国の動向を注視しつつ、新たなサービスについて検討されたい。

自治会により地域づくり振興事業補助金を活用した事業の参加者数

⇒新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の状況を確認しつつ、課題や要望を洗い出しながら事業に取り組まれたい。

基本目標2:一人ひとりが輝き、生き生きと暮らせるまち

・数値目標「子育てしやすいと感じている保護者の割合」について、33.1%⇒35.0%と設定されている目標値の見直しを検討されたい。

・「達成」で終わることなく、KPIの見直し等やプラスアルファの施策について検討されたい。

基本目標3:地域資源を活かした産業や交流を応援するまち

・ビジネスや人材を売り込むうえでのプロフェッショナルにアドバイスを貰ったり、仕事を任せたりなどして成果に繋がられたい。

・今後伸ばしていくべき産業に関わる施策に取り組まれたい。

・町の PR については、SNS の使い方を検討されたい。

総括

・実態や要望などデータを整理したうえで、KPIの見直しについて検討されたい。

・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の状況を確認しつつ、課題や要望を洗い出しながら各事業に取り組まれたい。

・「達成」となった事業については、より効果性のある指標に置き換えるなど、KPIの見直しやプラスアルファの施策について検討されたい。

まち・ひと・しごと創生寄付活用事業(企業版ふるさと納税)【令和4年度実績】について

- ・受け身の姿勢ではなく、寄付を募るための手段として、例えば企業と自治体のマッチング役を外部に依頼するなどして、寄付額の増加を図られたい。
- ・既存の事業以外に、町が新規事業として推し進める事業などに寄付を充てられたい。

地方創生交付金事業【令和4年度実績】について

地域再生計画の主旨を考慮したうえで、交付金の使い道・使い方といったものについて検討されたい。

その他付帯意見

会議資料等の配布について、紙で印刷することの時間・コスト等を考慮し、タブレット等による資料配付など、行政改革・DX化を図られたい。